

進歩をいとわない、  
という違い。

*nis next*

愛する人のことなら、ささいな変化にも目がいくように。

私たちトーシン不動産販売は、住まいに関することならば、  
情報の渦の中からキラリと光るニュースを発見します。

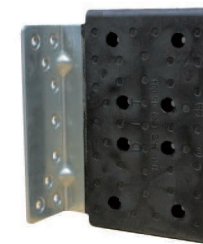
ある朝の新聞で、ふと目を引いた小さな記事。そこには某大学が  
地震の揺れを減らす制振金物の特許を取得、とありました。

気づいた時には電話をかけ、教授と会う約束を取りつけ、  
効果を確認するや、N·ist全棟への採用を決断していました。

N·istはすでに耐震等級の「最高等級3」を取得しています。  
その制振金物の追加はつまり、「最高以上」にこだわるということ。  
なぜなら私たちは、2016年の熊本地震において  
震度4超の余震が月に100回以上襲ったことも心に留めていたからです。

最高等級であっても、こんなに頻発する余震は考慮しているのか。  
「これまでなかった」は「これからもない」を保証してくれるのか。  
「万全はない」と知った以上、「想定外」に備えるべきではないのか。

「分からないから手を打たなくていい」という考え方は  
N·istにはありません。ましてや  
「建ててしまえば見えない場所だから」で済ますわけにはいきません。  
そう。より良い住まいのために“N”extを追求する姿勢こそ ——  
“N”-istの違いです。



「違う」に、こだわる。

**N·ist**

エヌ・イスト